



あつま

9月定例会号

No. 161

平成27年10月発行

議会だより



梟(フクロウ)、厚真神社に住み着いて3年目、冬期間に木洞内に居り日中は木の上で参拝者に癒しを振りまいている。

・・・「福来たる!!」・・・

第3回定例会 人事・自治功労・財産取得・請負契約締結・補正予算等 委員会活動レポート

総務文教常任：青少年センター展示ホール改修及びプラネタリウム活用状況
新たな教育委員会制度の概要、地域包括ケアシステムの確立に向けた取り組み
障がい者地域生活支援事業について…………… 6～7

産業建設常任：指定管理による入浴施設運営状況「びらとり温泉」
浜厚真野原公園売店の状況…………… 8

財政健全化比率等…………… 9

一般質問 「ここが聞きたい」伊藤富志夫・森田正樹・大捕孝吉
高田芳和・吉岡茂樹・下司義之、6氏が問う…………… 10～15

国へもの申す・「研修会報告」広報委員会…………… 16

議決案件（賛否状況）…………… 17

臨時会（補正予算）、議会のうごき、あとかぎ…………… 18

9月定例会

9月10日定例会が開催される。一般質問は6人、議案14件、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙1件、教育委員会委員の任命・自治功労賞表彰の同意3件、決算に基づく健全化判断比率等の報告6件、意見書案1件、議員の派遣が報告された。

会期中に決算審査特別委員会を設置し、平成26年度一般会計等の歳入歳出などの決算審査を付託した。



伴 俊行 氏

教育委員会委員の任命に同意した



佐藤 勉 氏
「公職歴等」
民生委員児童委員
厚真町農業委員会委員



森田 正司 氏
「公職歴等」
厚真町議会議員
厚真町農業委員会委員
まちづくり委員会委員
都市計画審議会委員

町の振興に対する功績を称え
自治功労賞表彰に同意した

選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い選任した

選挙管理委員会委員

安田久美子氏
畑嶋賢蔵氏
高田雅晴氏
矢部 励氏

補充員



松下一彦 氏



久保恵昭 氏



大浦眞則 氏



内山 豊 氏

【行政報告】

○札幌市立大学との包括連携協定の締結について
農村の暮らし方や産業振興、問題解決と地方創生に資するデザインを切り口として調査・研究を進め、その成果を地域振興の施策の参考とし相互協力を図る。
大学の専門的知見を、まちづくりに活用していく。

○農作物の生育状況について
全体的に平年並みを確保している。

一般会計補正予算

3908万円を追加 歳入歳出予算の総額が
71億9665万円となる。

(議案第1号)
厚真町個人情報保護条例
の一部改正

(番号法の施行に伴い法に基
づく個人番号及び特定個人情
報等の取扱い規定を追加する
ための改正)

マイナンバー制度
問 個人情報保護条例の
パブリックコメントの主
な内容は。

答 制度に賛成ではない
という意見と、マイナン
バーの制度化に危惧する
も、その情報管理につい
て町として徹底した管理
を行っていただきたい。

(議案第2号)
厚真町手数料徴収条例の
一部改正

番号法の施行に伴い、
10月5日から全町民に郵
送される個人番号通知
カード及び来年1月から
交付予定の個人番号カ
ードについて、再交付に伴
う手数料を徴収するため、
厚真町手数料徴収条例の
一部が改正された。

(議案第3号) 財産の取得 (厚真町民スケートリンク整氷車)

取得方法 随意契約

(理由) 整氷車の動力として、極寒時でもエンジンのかかりの良いガソリン車とした。又整氷車は実績のある米国ザンボニー社を選定したことにより整備する上でも有利である。

取得金額 (税込み) 2063 万円 取得相手 株式会社 パティネレジャー

物品明細 整氷車 (ザンボニー)・アイスリサーフェイサーM 546 ガソリン式 1台
防風キャビネット・車外排雪装置付

(議案第4号) 財産の取得 (学校給食センター厨房機器)

取得方法 指名競争入札 取得金額 1296 万円 取得相手 株式会社 中西製作所

「厨房機器仕様」 電動水圧洗米機 (洗米処理能力、360kg / h)・洗米浸漬配米機

(浸漬量 185kg、配米能力 20 釜 / h)・計量洗米ライン制御盤 (計量、タイマー制
御)・反転ほぐし機 (処理能力 66 缶 / h)・パススルー冷蔵庫
(0 ~ 10℃、容量 1739 ℓ)・インバーター冷蔵庫 (- 20℃ 以下、容量 1374 ℓ)

(議案第5号) 厚真中央小学校屋体天井改修工事請負契約の締結

厚真中央小学校屋体天井改修工事

契約金額 5221 万円 相手方 株式会社 矢部建設

(議案第6号) 上厚真小学校屋体天井改修工事請負契約の締結

上厚真小学校屋体天井改修工事

契約金額 5057 万円 相手方 株式会社 矢部建設

(議案第7号) 厚真地区配水管布設工事 (1 工区) 請負契約の締結

厚真地区配水管布設工事 (1 工区)

契約金額 5508 万円 相手方 森田・沼田経常建設共同企業体
(森田産業株式会社・有限会社沼田重機)

一般会計補正予算

地域消費喚起商品券事業

1124 万円

目的 町内の消費拡大により地域経済の活性化を図ることを目的に北海道がプレミアム分を全額支援する商品券を追加発行する。

事業主体

厚真町地域活性化商品券実行委員会

共催・後援

共催 とまこまい広域農業協同組合厚真支所・厚真町商工会

後援 厚真町

商品券の名称等（プレミアム率 20%）

厚真町ふれあいプレミアム商品券（仮称）

商品券の販売方法

- ①販売価格 1口 10,000 円(額面 12,000 円)
1口 (1,000 円券 8 枚、500 円券 8 枚)
- ②購入限度 1世帯 30口 300,000 円
(額面 360,000 円)
- ③販売方法 購入希望者を事前に受け付ける。
希望者が多数の場合は、高額希望者の限度額を引き下げて、希望者すべてに販売する。
- ④購入申込期間 平成27年 9 月26日
から10月 4 日(予定)
- ⑤利用有効期間 平成27年10月15日から
平成28年 2 月15日(予定)

商品券利用店

とまこまい広域農業協同組合厚真支所
町内協賛加盟店

事業費

商品券発行額
6000 万円 (1口 12,000 円× 5,000 口)
実行委員会事務費等 124 万円
商品券印刷・広告宣伝費)
合 計 6124 万円

財源内訳

商品券売上収入
5000 万円 (1口 10,000 円× 5,000 口)
町補助金(割増支援)
1000 万円 (1口 2,000 円× 5,000 口)
町補助金(事務費等) 124 万円
合 計 6124 万円
(内町補助金 1124 万円)

地域公共交通対策事業

141 万円

目的 地域公共交通の重要課題である循環福祉バスの毎日運行の実施に向け、幌内・高丘線において本年度実証運行を実施する。

内容 ①幌内・高丘線を現行、火・木・土曜日の運行に月・水・金曜日、追加運行をする。
②上厚真線の運行を月・水・金曜日から火・木・土曜日に変更する。

期間 平成27年10月1日(予定)～平成28年3月31日

事業費 運行委託料(幌内・高丘追加分) 109万円
燃料代 21万円
印刷製本費(時刻表作成) 11万円

テレビ共聴施設事業

492 万円

基盤整備工事

テレビ共聴施設幹線増設工事

光ケーブル 富里地区 264 m
フォーラム地区 530 m

個人番号制度事業

107万円

当初の通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金(国道支出金)

※27年10月より、マイナンバー制度実施に向けた通知カードが交付されます。

※28年1月以降に、個人番号カードが発行されます。(社会保障・税・災害対策等の手続に利用されます。)

交流促進センター整備事業

440万円

交流促進センター内部改修工事

露天風呂漏えい改修工事
客室改修工事

一般会計補正予算

4 機械導入計画 総事業費 6673 万円(税抜き)

自走式フォーレイジハーベスタほか関連機械

5 資金計画の概要

国費補助 : 2 分の 1

転貸リース : 2 分の 1

(リース期間 平成27年度～平成33年度)

転貸リースに対し

構成町 : 年間リース料の3分の1とし、
構成町割合は戸数割5割、受益
面積割5割

J A : 年間リース料の3分の1
(150 万円定額)

事業主体 : 年間リース料の3分1

6 負担区分

リース料

平成27年 (1 年目) 406 万円

平成28年～平成33年

2 年目～7 年目 473 万円

平成34年 譲渡金 333 万円

合 計 3583 万円

厚真町負担分

平成27年 (1 年目) 31万円

平成28年～平成33年

(2 年目～7 年目) 36万円/年

合 計 249 万円

酪農緊急経営安定対策事業

31 万円

1 概要 酪農・畜産情勢は飼料高騰や後継者不足の中、生乳生産量の維持・拡大を図る事により1戸当たりの飼養頭数が増加し、慢性的な労働力不足が生じている。日々の飼養管理に加え飼料生産、労働力の軽減や過剰な機械投資を抑制するための目的として、コントラクター組織である農事組合法人「らくのう」が設立された。作業機械導入に対し、酪農経営の高度化・効率化を図るため、構成町として補助支援を行う。

2 実施期間 平成27年～平成33年までの7年間

3 実施主体 農事組合法人「らくのう」
事務所、安平町

(組織構成の概要)

	組員数 (戸)	作業受託面積 (ha)
安 平 町	10	159.7
厚 真 町	5	52.3
苫小牧市	3	71.2
計	18	283.2



トラクター・フロントモアコンディショナー



自走式フォーレイジハーベスタ

レポート

総務文教常任委員会

概要

委員会は去る7月22日、現地調査、事務調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。現地調査2件、事務調査5件より抜粋。

展示ホール改修

○青少年センター展示

ホール改修状況

問 図書室利用のマナーとは？

答 周囲に気を配りながら飲食は汚れやすいもの、臭いがきついもの以外は可。Wi-Fiの利用はできるが静かに過ごし、コンセントの電源利用とゲームは控える。

問 近隣町村では。

答 公民館の役割もあり飲食可能が多い。

問 本棚の安全対策は。

答 耐震は高さや幅を考慮し、クッション材を置くなどして対応したい。

問 大人がゆつくり本を読むという環境の整備に
関しては。

答 絵本コーナーを円形ホールに移したので、静かな環境で出来るようになった、今後どう変わる



改修された展示ホール

か観察したい。

問 冬期間、開口部の扉は。

答 扉を設けないでオープンな形で利用したい。

問 高齢者の方に配慮しソファを増やしては。

答 現状を把握した上で今後検討したい。

問 利用度は多いので思い切った計画をたてては。

答 誰もが行って見たいと思える図書館づくりが最終目的なので、今後も図書室を活用していきたい。

プラネタリウムの活用

○プラネタリウムの活用状況

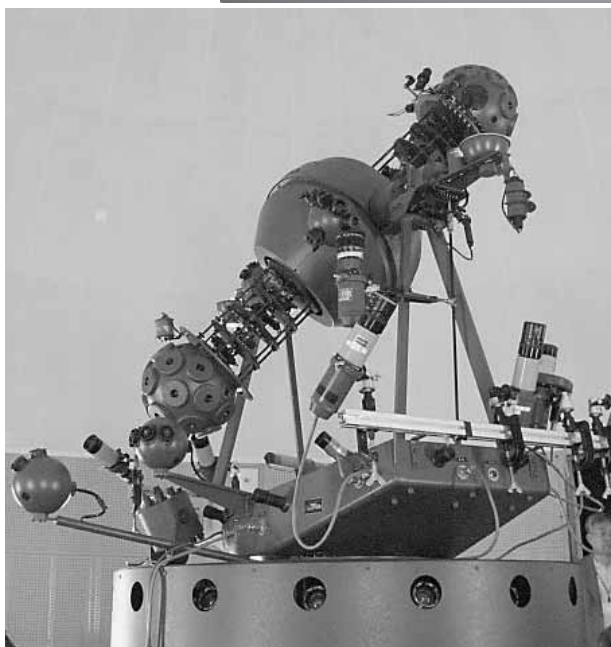
問 円形の階段なので一人乗りのエスカレーター設備を備えては。

答 全体として改修も含めた中で検討する必要があるが、現在は、その考えはない。

問 プラネタリウムの整備方針は。

答 今後具体的に改修か補修して延命処置を図るかは、財源措置も含めて検討したい。

教育委員会にある
プラネタリウム



問 マナビイカレンダーのデジタル版みたいなものを作れないか。

答 今後、そのような活用が出来るようになっていきたい。

委員会

総務文教常任委員会

質 疑

新たな教育委員会 制度の概要

問 新制度では首長と新教育長の権限は、どちら側が上なのか。

答 総合教育会議の中で調整協議を行うことで、従来の中立な立場は一切変わっていない。

問 広域化は関連するか。
答 一切これには関与していない。

◎教育行政における責任体制の明確化
◎迅速な危機管理体制の構築

①教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」

◎教育委員会の審議の活性化

②新教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化

◎地域の民意を代表する首長との連携の強化

③すべての地方公共団体に「総合教育会議」を設置
④教育に関する「大綱」を首長が策定

◎いじめによる自殺等が起きた後においても再発防止のために国が教育委員会に指示できることを明確化

⑤国の関与の明確化

※新教育長は、教育行政の第一義的な責任者を明確化する。

新「教育長」は、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命する職であるため、特別職の身分を有し、法律に特別の定め

がある場合を除き、地方公務員法は適用されない。
新「教育長」の任命の議会同意に際しては、所信表明など、丁寧な手続きが期待される。

新「教育長」は教育委員会の構成員であるが、委員ではない。

新「教育長」の任期は3年。

新「教育長」は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表（会議の主宰者、具体的な事務執行責任者、事務局に指揮監督者）する。

新「教育長」の代理は、委員の中から指名する。

地域包括ケアシステム の確立に向けた 取り組み

問 特養要介護3までの待機者は何人か。

答 20名ぐらい。

問 特養への入居優先順位は

答 優先度指標がある、

優先順位は入所判定会議で決めている。

問 高齢者共同福祉住宅の整備というのは。

答 町としての青写真ということで、固めて行きたい。

問 10床程度の高齢者共同福祉住宅を本郷に建てるのか。

答 本郷は、小規模多機能のデイサービスで、場所は決まっている。

問 高齢者共同福祉住宅とは。

答 高齢者と障がい者の方も一緒に生活できる住宅と考えている。

問 小規模タイプの内容は。

答 何か困ったときに泊まれる、訪問に依る小規模多機能型を選択した。

問 高齢者福祉住宅の整備に関して設置とか運営は。

答 コスト部分も見極め

ながら最低限必要、たというものを定めた中で、総合的に詰めて行きたい。

障がい者地域生活 支援事業

問 学童関係の移動支援で悪天候等の利用について。

答 委託先で保護者の方に連絡し判断している。

問 移動支援補助の検討は、答 経済的な支援を調整している。

問 補助の検討とか、委託調整ではなく早急に実現すべきではないか。

答 切実な声である。できるものは速やかに行うことで移動支援の予算絡みだと9月定例会に考えている、理事者と相談させていたきたい。

問 これは以前に引き継がったのか。

答 担当になり代表の方に聞いている、今後も協議を進めたい。

産業建設常任委員会

委員会は去る8月7日、事務及び現地調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。事務調査2件、現地調査2件より抜粋。

指定管理による入浴施設 運営状況（びらとり温泉）

びらとり温泉（ゆから）は、旧平取温泉（平取老人福祉センター）を平成26年6月にリニューアルオープンした施設で、改築に当たっては利用料金の設定をできるだけ低料金にし65以上の町民、身障者には年間24枚の無料券の配布、温泉とアイヌ文化博物館、萱野アイヌ資料館、パークゴルフ場の共通券も発行。

内装にアイヌ文様を施し部屋にはイタ（アイヌ文様を彫ったお盆）や3室には露天風呂を設け、食材等には地元のトマト、びらとり和牛等を活用しており、減少傾向にあった利用者が増加している。又、宿泊者用作業衣にもアイヌ文様を施し伝統文化を取り入れ、特色ある施設としている。

指定管理者とは10年間管理料は設けていない。

問 指定管理、旧温泉でリニューアルと言うことだが、平成25年まで約4000万円の指定管理料だが平成26年リニューアルオープンになってゼロこの差は大きいのが何故か。

答 温泉施設だけでは収入が上がらないというところとで宿泊施設を設けることになった。指定管理のノウハウも十分持っている業者であり、仕入れ代などの部分もあり、何とか指定管理料をゼロでやっていただいている。

問 指定管理者には指定管理料を払わないという確認だったのか。

答 指定管理を受けてもらう条件としては、指定管理料をゼロでお願いし

たいと話をした。

問 従業員の総数の内、調理師の数は。

答 現在、働いている人は20名くらい。調理人は料理長1人と料理する人2名、ウエイトレス3名くらいである。

問 宿泊施設で入浴を含め無料バスを運行しているが当初からの計画か。

答 以前（旧温泉）から引き継いで、宴会や宿泊客の送迎に運行している。

問 自動販売機の空き缶等の清掃はシルバー人材が設置している人に頼まれているということか、それでは管理していることにならないので、設置している人が責任を持っ

てきちんとやってほしい。答 設置者と現地で話をし、見回りに注意した。くよう十分注意した。



びらとり温泉「ゆから」

浜厚真野原公園売店

野原公園の売店は平成4年に設置し、現在、売店（管理棟）は厚真町が設置者、使用者は小樽海産株式会社自販機は民間（坂本）、飲食店は民間（上厚真を元気にする会）がそれぞれ運営している。



野原公園売店視察

町の財政を診断 (平成26年度決算に基づく)

「健全化判断比率及び資金不足比率」が監査委員より監査の結果について提出されたので報告する。

※算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されている。

比 率 名	平成27年度算定 健全化判断比率	基 準 (参 考)	
		早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	— %	15%	20%
連結実質赤字比率	— %	20%	30%
実 質 公 債 費 比 率	13.2%	25%	35%
将 来 負 担 比 率	— %	350%	—

- 1 実質赤字比率は、黒字であることから算定されない。
- 2 連結実質赤字比率は、資金剰余（黒字）であることから算定されない。
- 3 将来負担比率は、将来負担額よりも充当可能財源等が上回っていることから算定されない。

○個別意見

(実質公債費比率について)

平成26年度の実質公債費比率は、13.2%（前年度比 - 0.5%）となっており早期健全化基準の25%を下回っているが、今後ともより一層の財政の健全化に努められたい。

※「資金不足比率審査」

会 計 名 称	平成 27 年度算定 資 金 不 足 比 率	経常健全化基準 (参 考)
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計	— %	20%
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	— %	20%

各会計の資金不足比率は、資金剰余（黒字）であることから算定されない

みんなの町政であ
議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は12月中旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴等に関するお問い合わせは

☎ 27 - 2485 議会事務局までお気軽にどうぞ



一般質問

ここが聞きたい

改正介護保険法

介護保険料の負担は

答

給付を抑え生活を保障しながら
保険料が伸びないように努力する

問 改正介護保険法が2015年4月から2018年3月までの3年間で実施される、町ではどう変わっていくのか、特に新総合事業へ移行する際は従来通りになるのか。
特別養護老人ホームの新規入所が原則「要介護3」以上に限定されること、8月1日から介護保険利用者の一定所得の人



伊藤富志夫 議員

の負担が1割から2割になること、補足給付の支給に資産のチェックが入ること等で、今後の介護保険料の負担増に対し町はどう考えているか。

町長 介護予防のサービスが新しく体系化され新総合事業に移行する。

内容は提供型の体制に変わり選択肢が増える、既存の方は今まで通りで、新たな方は自立志向型で国が言う多様なサービスの選択肢になる。

特養での要介護3以上になったことでの影響は現時点では大きくないが、今後は24時間の小規模多機能型居宅介護事業所高齢者共同住宅を開設する予定である。

介護保険料の今後の見通しは、給付を抑えて元気な生活を保障しながら保険料が伸びないように努力する。

マイナンバー制度

町独自の持ち出し経費は

答

事業費は3カ年で
4800万円

問 マイナンバー制度の動きが急に具体的になってきた、先日「パンフ」も町民に配布されたが、説明不足になっていないか。

現時点では税・社会保障・災害の3分野98行政事務に関わって進められるが、今後は預金口座へのマイナンバー付番なども進めようとしている。

情報管理と町民の情報開示について、町の姿勢を伺いたい。

マイナンバー制度の実施に当たって、町独自の持ち出し経費はどのくらいになるのか。

町長 住民説明会周知については最善をつくしたい、利用が今後広がって

あなたにも、マイナンバー。
はじまります。



平成27年
10月から
マイナンバーを
一人ひとりに
お届けします！

マイナンバー(個人番号)とは、国民一人ひとりが持つ12桁の番号のこと。

- ・平成28年1月から社会保障・税・災害対策の行政手続で使われますので、大切にしてください。
- ・法人にも13桁の法人番号が指定され、官民問わず自由に使用できます。
- ※行政の効率化や国民の利便性向上のため、平成29年1月から行政機関などでの情報連携が開始されます。
- ※外国籍でも住民票のある方は対象となります。

1	行政の効率化 手続きが正確で 早くなる	2	国民の利便性の向上 面倒な手続きが 簡単に	3	公平・公正な社会の実現 給付金などの 不正受給の防止
行政機関・地方公共団体での作業の無駄が 削減され、手続きがスムーズになります。			申請時に必要な書類証明書をいった 資料の送付も省略できるようになります。		行政機関が国民の所得状況などを把握 しやすくなり、不正受給を防止できます。

マイナンバー制度のお問い合わせは
0570-20-0178

マイナンバー(個人番号)は、法律で定められた目的以外での使用、他人への提供が禁じられています。

いく可能性があるもので、情報の漏洩等のセキュリティ上の問題はしっかりと対応していかなければ

ならないが、情報のセキュリティは事件が起きないよう研修、個人個人のレベルアップ、意志を高めていく、仮に漏洩すれば、速やかに情報公開被害拡大防止、個人本来の所有者に連絡する。事業費は3カ年で4800万円である。

一般質問

ここが聞きたい

観光振興

公式キャラクター「あつまるくん」グッズの製作や販売は

答

特産品開発、「あつまるくん」の商標をかみ合わせて相乗効果が出るよう取り組みを進めたい

問 現在「あつまるくん」はゆるキャラグランプリで全国1800体の中で総合約325位、ご当地で約221位である。

グッズの製作や販売、

子どもからお年寄りまで親しみやすいゆるキャラソングや音頭などを制作してはどうか、また浄水

場が29年完成予定に伴い

「あつまるくん水」や大々的に全国へPRしているハスカップを使用した「ハスカップ水」など製作販売してはどうか。

町長 当初、「あつまるくん」を誕生させたことで、町でグッズを用意し

た。それ以降、「あつまるくん」のデザインを町内の経済活動にどんどん利用してほしいと広く呼

びかけており、そういった中でグッズが欲しいという声がありましたので、観光協会がまとめて製作し販売している。

安全な水が国民に受けていることで様々なところで水を商品にしていると聞いており、今後の特産品開発、それと「あつまるくん」という商標をうまくかみ合わせて検討し、観光協会も含めて相乗効果が出るよう取り組みを進めてまいりたい。



森田正樹 議員



販売されている「あつまるくん」のグッズ類

社会問題

いじめ防止に向けた取り組みは

答

学校の規模や状況に応じた適切な把握やいじめ防止に取り組んでいる

問 この8カ月の中で中

を行っている。

学生のいじめ等にかかわる事件が4件ほど発生している、学校生活、家庭生活、野外活動での環境チェックが必要で、アンケートの他にどのような対策を取っているのか。

また、過去に全児童生徒が集まり「青少年健全育成の集い」を行って

以前行っていた青少年育成の集いは知事・教育委員のメッセージを発表するだけで、今の状況ではいじめ防止の法律や基本方針の取り組みを推進する上で整合性がとれなくなってきたと感じている。

しましたが、この身近な問題を学校・家庭・地域で取り組むことから復活させてはどうか。

教育長 国・道は年2回の調査を義務づけており、学校の規模や状況に応じてそれぞれが適切な把握やいじめ防止の取り組み

一般質問

ここが聞きたい

問 本町の道営基盤整備も進み圃場区画も大きくなり経営改善が図られているが、高齢化、担い手不足等は解消されず、これらを補っていきけるのがGPS装置と考える。

農林水産省における農業へのロボット技術導入実証事業として、高精度の機器が開発されたが、

地上局を置くことにより3 cm から30 cm 位の誤差精度になった。
装置は高額のため導入に対しては年次計画的に行い、支援が必要と考えるが。

町長 本町も圃場整備、かんばい事業の推進によって生産基盤は整いつつある。

非常に高効率な農業体系にあり、ロボット化、最先端のICT技術を利用した農業経営にチェンジする時期と考える。

農業者の声、本町ならではの効果の検証、先進地視察あるいは試験的に基地局を導入し、RTK



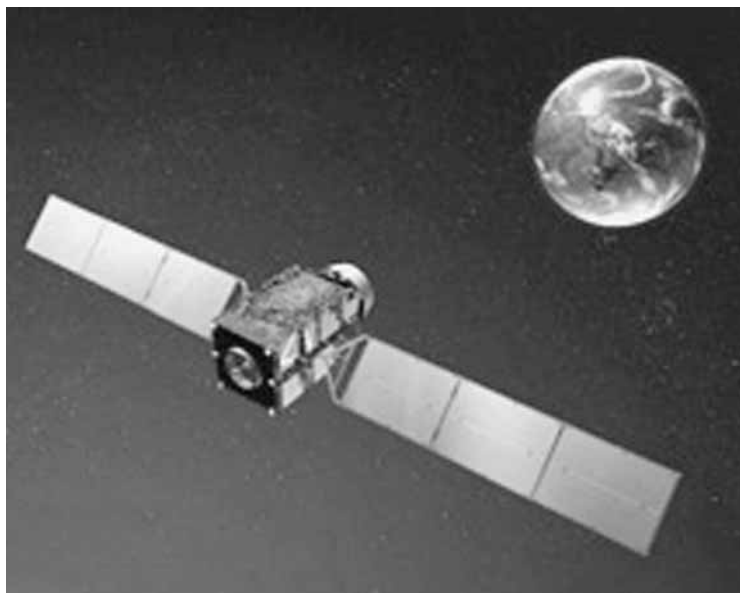
大捕孝吉 議員

農業振興

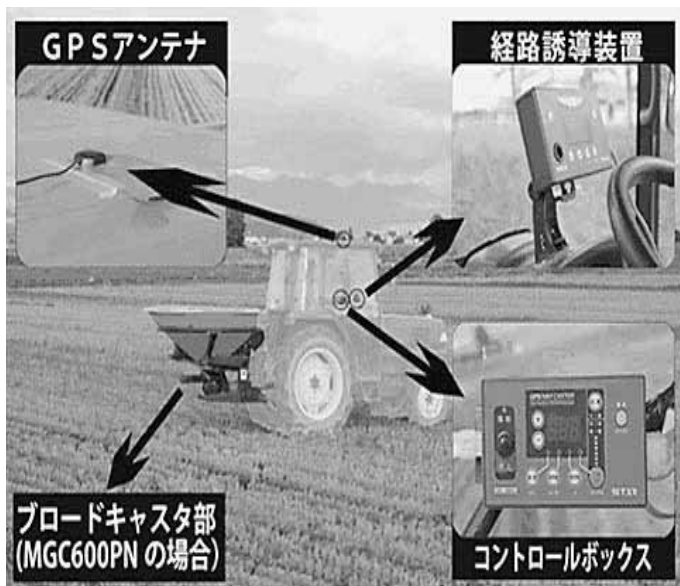
GPS地上局の導入を

答 早期に試験的取り組みをしたい

GPSへの改修も進め効果を測定していく必要がある。
非常に高額になるの
で、公的支援が必要な段階にきている、スピード感を持ち早い時期に試験的取り組みを考えている。



GPS用人口衛星



GPS装置による実証試験



高田芳和 議員

一般質問

ここが聞きたい

子育て支援

こども園保育料のさらなる軽減策は

答 近隣の状況等を十分調査し検討

問 平成28年4月開設予定の厚南地区認定こども園の保育料は、どのようなものか。

また、こども園つみき開設時に、国の徴収基準額の3分の1を軽減し、さらに保育料の1割を金券で還元することで国の徴収基準額の4割を軽減されたが、認定こども園

2園が運営開始になるタイミングで、これまでの3分の1軽減から2分の1軽減とし、現在の金券2割還元と合わせ6割軽減とし、さらなる保護者の経済的負担の軽減を図ってはどうか。

町長 厚南地区認定こども園の保育料は、こども

園つみきと同じ体系となる。また、保育料の軽減策については、少子化に伴う人口減少社会にどう地域が取り組むかという課題で、子育て環境、教育環境あるいは若い世代を町に移住・定住を図る取り組みは、この町でも重点項目として取り組み保育料の軽減合戦が全国で起きている。軽減策について、近隣の取り組み状況等を十分調査し、検討していきたい。



認定こども園「つみき」

既存居住子育て世帯への支援

答 厚真町に住んで良かったと思っただけの行政サービスを講じていく

問 少子高齢化時代に児童数が減少し続ける中で、町外から子育て世帯の移住を促進し地域の活性化を図るうえで、上厚真子育て支援住宅に係る児童数に応じた家賃控除制度は、即効薬として大変効果的だと思うので、今後

も推進し町の活性化を図っていくべきと思う。一方では、既存居住子育て世帯の方から差があるのではないかとの不満の声があり、公平性を保つために町独自の子育て支援策を創出できないか。

町長 総合戦略を策定する中で、様々な方々から意見をいただいた、その折に出るのが、既存の住民の皆さんから移住促進策に偏りがあるのではないかという話である。18歳までの子供が40人平均とすると720人になり、1人当たり5千円ずつ家賃あるいは住宅手当として支給するということと大変な金額になるので無理である。総合計画の中で議論を進め、厚真町に住んで良かった等と思っただけの行政サービスを講じていきたい。



上厚真子育て支援住宅

一般質問

ここが聞きたい

農業振興

優良繁殖雌牛保留・導入 推進事業の継続について

答

3カ年の実績を検討し、
継続するか判断



吉岡茂樹 議員

問 町内の和牛飼育農家の所得向上のため、高齢素牛の更新を促進する目的で、平成25年度より「優良繁殖雌牛を保留・導入及び増頭」する事業が開始されておりますが、本年度で終了致します。当初3年間で240頭の更新目標に対して、6割の更新が進んでいるが

事業効果が出るのはまだ先のことであり、現在厚真町の和牛の市場販売価格が向上してきている。この事業を来年度以降も継続する考えがあるか。

町長 繁殖雌牛の年齢とそれらの後代産仔牛の生産能力の関連性については、明確な優位性があり、先進地でも10歳以上高齢繁殖牛については、更新すべきと経営指導している。

これらを踏まえ「和牛緊急経営安定対策事業」のうち平成25年度より「優良繁殖雌牛を保留・導入及び増頭」事業を行っている。本年度で終了するが、来年度以降の継続については、3カ年の結果、市場動向を踏まえ時間をかけて継続するかを判断する。



ホクレン南北海道家畜市場

農業振興・商業振興

厚真町グリーンツーリズム運営協議会の取り組みについて

答

一歩進めるために本格的な支援策が必要と考えている

町長 本町の持つ農村としての潜在力、景観をもとに都市住民の方々と交流を深

問 厚真町の地域資源の活用と美しい景観の保全、歴史、伝統文化の伝承、地域特産品を生かしたもののづくり等魅力あふれる地域づくりと都市住民との交流を進めるとともに、グリーンツーリズムを核とした都市との交流ビジネスを育成し、地域の活性化を官民共同で推進することを目的として、平成24年に厚真町グリーンツーリズム運営協議会が設立され、5項目の事業推進方策があるが、事業の取り組み状況を伺う。

これまで、開発・研究等の研修会を中心に行っており、今後安定的に事業を継続していく仕組みにし、もう一歩進めるために本格的な支援策が必要と考えている。



グリーンツーリズム事業「いもほり観光」



下司義之 議員

一般質問

ここが聞きたい

鳥獣害対策

熊対策の考えは

答 北海道では共存に取り組んでいる

問 最近、防災無線で熊出没の注意放送がされているが、以前から町内に住まわれている方は出没場所の見当がつくが、移住されたフォーラムビレッジやルーラルビレッジの方には出没地点の特定が出来ないと思われる。町の熊対策に対する基本方針による、移住・定住された方への対応の方法は。

町長 町内の熊は、夕張山地と樽前を季節的に移動する時に確認される程度であった。今回は、町道新町豊沢線の町有牧場に近い辺りに居ついている可能性が

あるので、住宅、農地に近いことから、道に申請して箱わなを設置した。注意看板の設置、パトロール、防災無線での広報活動を行っているが、熊が居そうな地域を立ち入り禁止区域とし、近隣自治会に文書で広報する。北海道ではヒグマを駆除ではなく、どう共存するかに取り組んでいる。

戦没者追悼式

平和記念式典への変更は

答 追悼式を継続する



参加者が年々減っている戦没者追悼式

問 戦後70年となり、戦争体験された方が高齢になつている中、戦争の悲しさ、無意味さを後世に語り継ぐという取り組みが必要となつている。

戦没者追悼式に参列される遺族の方も高齢となり、毎年参加者が減る中、平和記念式典のような形に事業を変更する時期に来ているのではないか。

町長 戦没者追悼式については、遺族の方々が追悼式として継続していただきたいという思いがあり、本町としては平和祈念式典という形に今の時点では転換しないという結論である。

ただ、平和の尊さ、戦争の悲惨さについては、実体験のない方々が圧倒的に多くなつた時代なので、どう語り継いでいくか、また、個々がそういったものにきっちり向き合っていく、考える時間あるいは考える機会を設けていくことも必要と認識している。

(その他の質問)

問 学童保育に対象になつていない小学高学年の放課後の居場所づくりは。

町長 平成28年度以降は学童保育の対象を6年生まで引き上げる。

議会広報

町民の皆様方に、読んでいただくために訴求力を持って見やすい・わかりやすい広報づくりを研修してきました。

『訴求力＝宣伝・広告で読み手に訴える力』

実際に今年前半に発行された9町の「議会だより」をもとに、いい点・改善点と大変細かく丁寧なアドバイスされていた。ポイントとは、シンプルだが訴求力があり見やすい、わかりやすい事と知り、

伊藤富志夫

平成27年8月19日北海道町村議会議長会主催の「議会広報研修会」が札幌で開かれた。全道から109町村574名が参加した。ここ厚真町からも議会広報関係議員6名と事務局1名が参加した。会は最初、全道町村議会議長会会長西村氏（上富良野町議会議長）から挨拶があり、「85%の住民が読む議会広報誌を、いかに読みやすく親しみやすいものにするか大変重要である。」とこの研修会の開催意義が話された。そして続けて「議会広報誌の表現方法」というテーマで、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏による講義とクリニックが行われた。講義では「議会広報誌の編集ポイント」と「知っておきたい視覚化の基礎知識」を話され、クリニックでは、



国に物申す(意見書案審議) 採決＝可決、賛成全員

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

本道の林業・木材産業は、山村地域を支える基幹産業として発展し、雇用の確保、地域経済の活性化などに大きく寄与してきた。

しかし、山村では、人口の減少と高齢化が急速に進みつつあり、近い将来、集落はもとより、自治体の存続が危ぶまれる事態をも想定されている。一方、地球温暖化が深刻な環境問題となっている中で、二酸化炭素を吸収・固定する森林・木材に対し大きな関心と期待が寄せられているが、我が国においては、化石燃料への依存が高く、森林や木材が果たす役割はこれまで以上に重要となっている。

このような中、道では、森林の公益的機能の維持増進や森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や森林整備加速化・林業再生対策等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害防止、木造公共施設の整備など、さまざまな取り組みを支援してきたところである。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、こうした取り組みをさらに加速させ、地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 京都議定書第二約束期間における森林吸収量の国際的な算入上限値3.5%分を最大限確保するため、「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源対策を位置づけるなど、森林整備や木材利用のための安定的な財源を確保すること。
- 2 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用安定化を図るため、公共事業である森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 3 川上から川下に至る総合的な対策を地域の実情に合わせて柔軟に展開するため、「森林整備加速化・林業再生対策」を恒久化し、財源を確保すること。

提出者 大捕孝吉 賛成者 高田芳和・伊藤富志夫・吉岡茂樹・三國和江
提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣
文部科学大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣

環境大臣・復興大臣

※(所得税法第56条廃止を求める意見書は、総務文教常任委員会に付託)

9月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

平成27年8月24日（月）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	厚南地区児童会館建設工事請負契約の締結	賛成全員
議案第2号	厚真中学校再生可能エネルギー設備工事請負契約の締結	賛成全員
議案第3号	平成27年度厚真町一般会計補正予算（第3号）	賛成全員

平成27年9月10日（木）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
選挙第1号	厚真町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	
同意第1号	厚真町教育委員会委員の任命	同意全員
同意第2号	自治功労賞表彰	同意全員
同意第3号	自治功労賞表彰	同意全員
議案第1号	厚真町個人情報保護条例の一部改正	賛成多数
	反対（伊藤議員）	
議案第2号	厚真町手数料徴収条例の一部改正	賛成多数
	反対（伊藤議員）	
議案第3号	財産の取得	賛成全員
議案第4号	財産の取得	賛成全員
議案第5号	厚真中央小学校屋体天井改修工事請負契約の締結	賛成全員
議案第6号	上厚真小学校屋体天井改修工事請負契約の締結	賛成全員
議案第7号	厚真地区配水管布設工事（1工区）請負契約の締結	賛成全員
議案第8号	北海道市町村総合事務組合規約の一部変更	賛成全員
議案第9号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更	賛成全員
議案第10号	北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更	賛成全員
議案第11号	厚真町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	賛成全員
議案第12号	平成27年度厚真町一般会計補正予算（第4号）	賛成全員
議案第13号	平成27年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	賛成全員
議案第14号	平成27年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第2号））	賛成全員
認定第1号	平成26年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定	賛成全員
認定第2号	平成26年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会に付託
認定第3号	平成26年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会に付託
認定第4号	平成26年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会に付託
認定第5号	平成26年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会に付託
認定第6号	平成26年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	決算審査特別委員会に付託
意見書案第1号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	賛成全員
	所得税法第56条廃止を求める意見書	総務文教常任委員会に付託

第5回臨時会

8月24日開会

■厚真地区児童会館建設 工事請負契約の締結

・契約の方法

指名競争入札

・契約金額

2億2050万円

・契約の相手方

盛興・木本特定建設工

事共同企業体

代表者

盛興建設株式会社

構成員

有限会社木本建設

■厚真中学校再生可能工 ネルギー設備工事請負契

約の締結

・契約の方法

指名競争入札

・契約金額

5788万8千円

・契約の相手方

厚信・三國・小寺経常

建設共同企業体

代表者

株式会社厚信電機

構成員

有限会社三國電機商会
有限会社小寺電気

主な質疑

問 再生可能エネルギー

の設備工事の本身は。

答 設備としては太陽光

発電設備、太陽熱利用設

備の設置が主である。

■一般会計補正予算

減債基金積立金165

0万円、町民スケートリ

ンク整備事業4137万
3千円などが追加され、
予算総額は71億5756

万1千円になりました。

主な質疑

問 スケートリンクの整

氷車導入に伴い管理はど

うなるか。

答 今は業者委託だが、

今後については整氷車の

運転が主な業務というこ

とになり、個人の委託も

含めて検討していきたい。
問 スケートリンク管理

棟の管理室から整氷車格

納庫への出入りはどうな

るか。

答 管理室から整氷車格

納庫へは行き来できない

ようになっているが、実

施に向けていただいた意

見も参考にしながら、一

番管理しやすい運営を考

えたい。

あと
がき



朝夕めつきり寒くなり
ました。

9月上旬JAとまこま
い広域の水稲稔実調査で
は、主要品種の不稔率が
平年を大きく下回り、収
量・高品質米の生産が期
待されるとありました。
いかがだったでしょうか。

厚真町は一次産業の町、
農業はもちろん、漁業、
林業もあります。このど
れもが元気で、働く人々
が意気揚々とならなけれ
ば日本の未来はないと思
っています。

議会でも後押しできる
取り組みをして行きたい。

広報委員
伊藤富志夫



7月

- 3日 厚真町元議会議員会親睦総会
- 5日 北海道厚真福祉会運動会
- 6日 苫小牧地方総合開発期成会
- 7日 全道議員研修会
- 8日 和寒町議会視察来町
- 9日 議会広報特別委員会、厚幌ダム建設促進期成会札幌・室蘭要望
- 10日 北海道ソーラー2発電所開所式
- 15日 胆振管内選出道議会議員と管内市町長及び議長との意見交換会
- 16日 議会広報特別委員会
- 17日 町内行政視察
- 18日 浜厚真救難所合同訓練
- 20日 交通安全協会及び交通安全指導員会合同研修会
- 21日 町村議会新任議員研修会
- 22日 総務文教常任委員会
- 23日 現金出納例月検査
- 24日 厚沢部町議会視察来町
- 26日 あつま海浜まつり
- 27日 定期監査（備品・財務事務）
- 28日 胆振総合局との行政懇談会
- 29日 財政援助団体に関する監査
- 30日 勇払東部地区国営農業用水再編対策事業促進期成会札幌要望
- 30日 ともいきの里夏祭り

8月

- 4日 厚幌ダム中央要望
- 5日 学校定期監査
- 7日 産業建設常任委員会
- 8日 厚幌ダム定礎式・着工を祝う会 北海道厚真福祉会夏まつり
- 10日 決算等事前審査（～11日）
- 11日 6団体親睦パークゴルフ大会
- 18日 佐藤勉氏瑞宝単光章受章祝賀会
- 19日 北海道町村議会広報研修会
- 20日 決算等本審査（～21日）
- 21日 タウンプロモーション事業「吉田類の酒宴の夕べ」
- 23日 第15回集まりンピック
- 24日 第5回臨時会、総合計画策定に関する調査特別委員会
北竜町議会視察来町
- 25日 現金出納例月検査
- 26日 健全化判断比率・資金不足比率関係書類審査・消防定例議会
- 28日 厚真町戦没者追悼式

9月

- 3日 勇払東部地区国営農業用水再編対策事業促進期成会総会
- 4日 議会運営委員会・議会広報特別委員会、苫小牧厚真会総会
- 6日 札幌厚真会総会
- 10日 第3回議会定例会
- 11日 議会広報特別委員会、田舎まつり反省会
- 15日 厚真神社秋季例大祭（～16日）
- 16日 厚真町敬老会、厚真町選挙管理委員会委員及び同補充員当選証書
付与式
- 17日 総合計画策定に関する調査特別委員会
- 24日 厚真福祉会合同法要
- 25日 交通安全パレード
現金出納例月検査
- 29日 議会広報特別委員会、群馬県邑楽郡町村議会議長会視察来町
- 30日 胆振東部消防組合議会議員道内行政視察（～10月2日）